

## 【第4次計画骨子案補足説明資料】

## 〈基本理念〉

## 「誰もがつながる安心と支え合いの地域づくり」

基本理念については、昨年度に実施した市民ワークショップや地域懇談会において、第3次計画策定時と同様に、参加者から「つながり」に関連する多くの意見が出されました。「つながり」には、人と人とのつながりだけではなく、情報や機関等の社会資源など、様々なつながりが考えられます。また、「地域共生社会」の実現のためには、地域住民同士だけではなく、支援機関や行政機関等、多様な機関がつながることが必要です。第4次計画においても、第3次計画の「誰もがつながる地域づくり」を踏襲し、地域住民や多様な主体等とのつながりによって、安心と支え合いの地域づくりを目指すことを基本理念とし、計画を展開していきます。

## 〈基本方針（基本目標）〉

- ①基盤づくり（包括的な支援体制の基盤づくり）
- ②地域づくり（地域住民による支え合い・見守りの地域づくり）
- ③担い手づくり（専門職から住民一人ひとりまで地域福祉支える担い手づくり）
- ④環境づくり（誰もが地域で安心して暮らせる環境づくり）

## ①基盤づくり（包括的な支援体制の基盤づくり）

地域住民が抱える生活課題が複雑化・複合化するなか、高齢者の親と無職でひきこもり状態の子どもが同居している世帯など、ひとつの世帯で複数の課題を抱えた地域住民の支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築が必要となっています。

それぞれの福祉分野ごとの支援体制では対応困難な課題に対応するため、住民に身近な圏域で住民が主体的に地域課題を把握し、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止め、解決する体制の立ち上げ支援や重層的な支援体制の構築に向けた取組等を推進することで、「包括的な支援体制の基盤づくり」の実現を図ります。

## ②地域づくり（地域住民による支え合い・見守りの地域づくり）

今後、人口減少及び高齢化の進展、一人暮らしの高齢者の増加により、地域で課題を抱える住民も増加することが見込まれています。福祉ニーズの増加とともに、これまでに以上に地域での支え合い、見守り、居場所づくり等への取組が求められます。

引き続き、地域福祉の場・拠点づくり、地域での支え合い活動や多様な世代が交流で

きるサロン活動等を通じた住民相互の支え合い・見守り体制の拡充、大規模な災害が起きた際の要支援者に対する地域の支援体制の構築等を進めることで、「地域住民による支え合い・見守りの地域づくり」の実現を図ります。

### **③担い手づくり（専門職から住民一人ひとりまで地域福祉支える担い手づくり）**

地域福祉の充実を図るためには、それを支える担い手が重要かつ不可欠です。そのため、介護、保育人材の確保等の推進のほか、あらゆる世代に対して、福祉学習機会の提供や地域福祉活動やボランティア活動への参加機会の充実、また地域福祉を担う住民及び団体への育成・支援の拡充とともに、社会福祉法人、企業、大学等の社会貢献活動と連携する取組等を進めることで、「専門職から住民一人ひとりまで地域福祉を支える担い手づくり」の実現を図ります。

### **④環境づくり（誰もが安心して地域で暮らせる環境づくり）**

生活するうえで、課題を抱える住民が制度やサービス、または地域の支え合いなどの資源につながらないということが、社会的な課題となっています。さらに、地域のつながりが希薄になるなかで、社会的に孤立する住民の増加も懸念されます。そのため、福祉の支援を適切に利用できるための環境整備等の社会的孤立防止対策を推進するとともに、福祉サービスの苦情解決体制の強化、また様々な状況にある全ての人に優しいまちづくりを推進することで、「誰もが安心して地域で暮らせる環境づくり」の実現を図ります。

### **【その他】第4次計画の位置付けの改正**

様々な生活課題に対応する包括的な支援体制の整備を進めていくため、「日高市子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援行動計画」「日高市障がい者計画・障がい福祉計画、日高市障がい児福祉計画」「日高市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の3つの福祉計画に、「はつらつ日高21」「日高市自殺対策計画」を加えて、地域福祉に関する共通して取り組む事項を盛り込むことで、さらに計画の推進を図ります。